

令和2年度 特色ある教育実践 (学校・園、若手教職員) 助成 募集要項

新潟日報社
公益財団法人 日本教育公務員弘済会新潟支部

I 事業の趣旨

子どもたちに「生きる力」を育むことはもちろんのこと、一方で、社会の変化を見据え、新たな学びへと進化させた教育実践が求められています。

各学校・園においては、学校・園が一丸となって、課題を明確にし、その解決に向けた創意工夫ある教育実践を展開して、確かな成果を積み重ねていくことを期待します。

また、とりわけ未来の教育の担い手でもある若手教職員においては、創意工夫ある教育実践を通して確かな指導力を身に付け、学校・園の教育の充実に寄与することを期待します。

この事業は、「特色ある教育実践」の論文募集を通して、「助成」と「顕彰」という形で、日々熱心に教育実践に取り組んでいる学校・園、若手教職員を応援するとともに、「広報」により、県教育の一層の発展に寄与することを目的としています。

II 主催

新潟日報社

公益財団法人 日本教育公務員弘済会 新潟支部

III 論文について

1 内容

- 「I 事業の趣旨」を踏まえ、学校・園または若手教職員が、具体的な研究主題を設定して取り組んだ「特色ある教育実践」について、論文にまとめることとします。

※ 応募論文は、未発表のものに限ります。

2 募集対象

- 県内国・公・私立の幼稚園、保育園、認定こども園、小学校、中学校、中・高一貫校、高等学校、特別支援学校、及びそこに勤務する若手教職員とします。

※ 教育関係機関、教職員で組織する教育研究団体等は対象外です。

3 部門

(1) 学校・園部門

- 学校・園として取り組んだ「特色ある教育実践」の論文を募集します。

※ 応募は、1校・園1編とします。

(2) 若手教職員部門

- 若手教職員が、個人で取り組んだ「特色ある教育実践」の論文を募集します。

※ 応募は、1人1編とします。同一校から、複数名の応募ができます。

※ 「学校・園部門」に応募した学校・園に在籍する教職員も、応募することができます。

- 次の二つの部があります。

① 20歳代の部 (論文を応募する年度の4月1日現在で、20歳代の教職員)

② 30歳代の部 (論文を応募する年度の4月1日現在で、30歳代の教職員)

4 論文の書き方

(1) 様式

- 指定の原稿用紙はありません。
- 文字は常用漢字、現代かなづかいを使用して下さい。
- 論文は、A4判(縦置き)で横書き、1ページを24字×43行×2段組、文字ポイントは10.5ポイント、明朝体で作成して下さい。

1ページ目の、左右の段のそれぞれ7行を使って、応募部門名・主題・副題・校名・校長名(「若手教職員部門」の場合は、応募者名)を記載してください。

図表や写真等を載せる場合は、24字×43行×2段組のスペースの中に納めて下さい。カラー、白黒は問いません。

※ 「別紙 論文の書き方」を参考にしてください。

- 資料は、A4判(縦置き)とし、紙面の使い方は自由です。

- 論文の様式を「新潟教弘」のホームページからダウンロードすることができます。 自校(自

分) で作成した様式でも、字数等が同じであればよいです。

(2) 枚数

- 「学校・園部門」、「若手教職員部門」ともに、論文4ページ、資料2ページとします。

5 論文の提出の仕方

- 論文と資料をセットにしたものを5部作成し、1部ずつ、紙帯(紙テープ等)留めをして下さい。
※ 印刷は、片面印刷にして下さい。
※ ホチキスやクリップ等は、使用しないで下さい。
- 論文と資料は折らずに、「報告書」と一緒に郵送して下さい。

6 受付期間・提出期限

(1) 「申請書」

- 受付期間は、5月7日から12月10日まで(必着)です。

(2) 「論文」・「報告書」

- 受付期間は、申請書提出以降、12月17日まで(必着)です。
※ 「申請書」と「報告書」の様式は、公益財団法人日本教育公務員弘済会新潟支部のホームページからダウンロードして下さい。

7 提出先

〒950-0087

新潟市中央区東大通2丁目5-8 東大通野村ビル8階
公益財団法人 日本教育公務員弘済会 新潟支部
「特色論文係」

IV 活動助成

- 「申請書」を受理後、申請した全ての校・園、若手教職員に対して活動費を助成します。
- 助成金額は、「学校・園部門」は5万円、「若手教職員部門」は1万円です。公益財団法人日本教育公務員弘済会新潟支部の役員・参事が持参します。

V 審査

1 審査員

大学教授等(2名) 新潟日报社(2名)
教育関係者(2名)
NIE推進協議会(1名)
公益財団法人日本教育公務員弘済会新潟支部
(1名)

2 審査対象

- 提出された論文について審査します。
※ 資料は、論文を読む際の補助として使用し、審査対象にはしません。

3 表彰等

(1) 学校・園部門

最優秀賞 1編 (入選助成額 40万円)
優秀賞 2編 (入選助成額 30万円)
優良賞 15編 (入選助成額 20万円)

(2) 若手教職員部門

① 20歳代の部

入選 5編 (入選助成額 5万円)

② 30歳代の部

入選 5編 (入選助成額 5万円)

- ※ 両部門とも、各賞の該当数は、審査結果により変更となる場合があります。

- ※ 受賞校・園、若手教職員には、2月から3月にかけて、新潟日报社と、公益財団法人日本教育公務員弘済会新潟支部の役員、参事が、賞状及び入選助成金を贈呈に上がります。

4 発表

- 2月に、新潟日報紙上において、「学校・園部門」の受賞校・園と、「若手教職員部門」の受賞者を発表します。
- 「学校・園部門」の最優秀賞・優秀賞については、新潟日報の教育面で一部を紹介します。

VI その他

- 提出された論文と資料は返却いたしません。
- 入選校・園、入選者は、次年度の応募をご遠慮願います。次の応募は、2年目以降にして下さい。
入選されなかった学校・園、若手教職員は、引き続き次年度も応募することができます。ただし、2年続けて入選されなかった場合は、内容の如何に関わらず、次年度(1年間)の応募をご遠慮願います。
- 不明な点がありましたら、下記にお問い合わせ下さい。

公益財団法人 日本教育公務員弘済会 新潟支部
「特色論文係」
電話 025-244-0025

論文の書き方

(1) 学校・園部門

A4判 縦置き (縦長)

| | | |
|----|------------------------|------------|
| | 24字×43行 | 24字×43行 |
| 行 | ----- | |
| 1 | 学校・園部門 | |
| 2 | ----- | |
| 3 | 【主題】 ○○○○○○○○○○○○○○○○○ | |
| 4 | 【副題】 ○○○○○○○○○○○○○○○○○ | |
| 5 | | ○○市立○○○小学校 |
| 6 | | 校長 ○○ ○○ |
| 7 | ----- | |
| 8 | (本文は8行目から) | |
| | (1段) | (2段) |
| | | (2段組) |
| 40 | | |
| 41 | | |
| 42 | (24字) | (24字) |
| 43 | ----- | ----- |

(2) 若手教職員部門

A4判 縦置き (縦長)

| | | |
|---|------------------------|---------------|
| | 24字×43行 | 24字×43行 |
| 行 | ----- | |
| 1 | 若手教職員部門 ○○歳代の部 | |
| 2 | ----- | |
| 3 | 【主題】 ○○○○○○○○○○○○○○○○○ | |
| 4 | 【副題】 ○○○○○○○○○○○○○○○○○ | |
| 5 | | ○○市立○○○小学校 |
| 6 | | ○○ (職名) ○○ ○○ |
| 7 | ----- | |
| 8 | (本文は8行目から) | |

※ 8行目からは、「学校・園部門」と同じ。

論文の様式を「新潟教弘」のホームページからダウンロードすることができます。